

令和2年度 熱田区 区民アンケート

アンケート結果

令和3年1月  
熱田区役所

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握するとともに、昨年度実施した調査との比較を行い、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

### 2. 調査の地域

名古屋市熱田区の全域

### 3. 調査の対象

区内居住の18歳以上の男女1,200人

### 4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

### 5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

### 6. 調査期間

令和2年 8月24日～ 9月14日

### 7. 回答者数

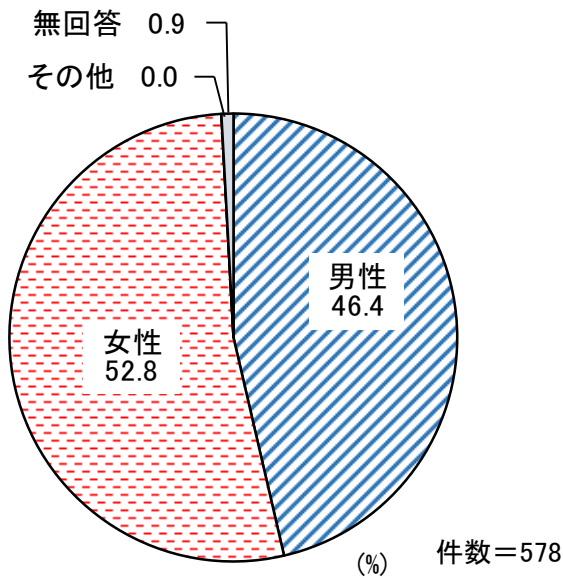
578人（回答率48.2%）

# 調査の結果

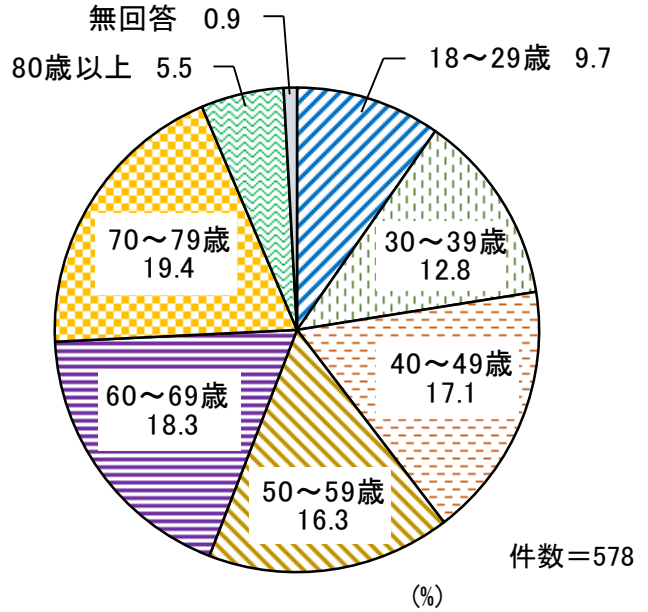
## 1 あなたご自身のことについて

### 1-1 対象者の属性

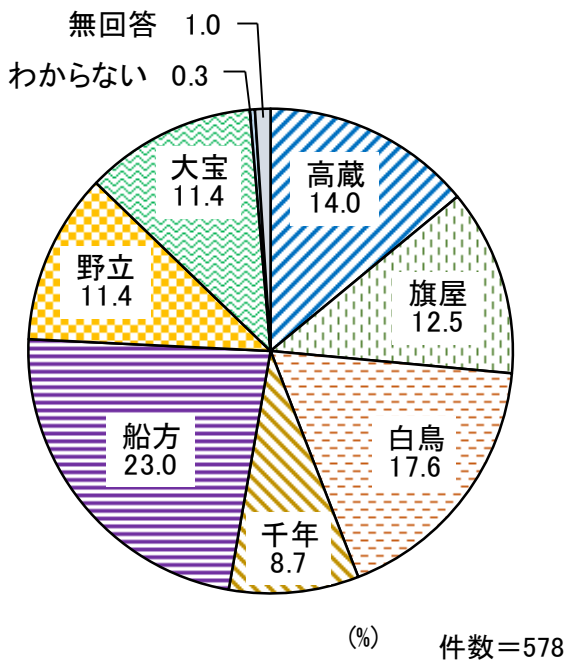
#### ■性別



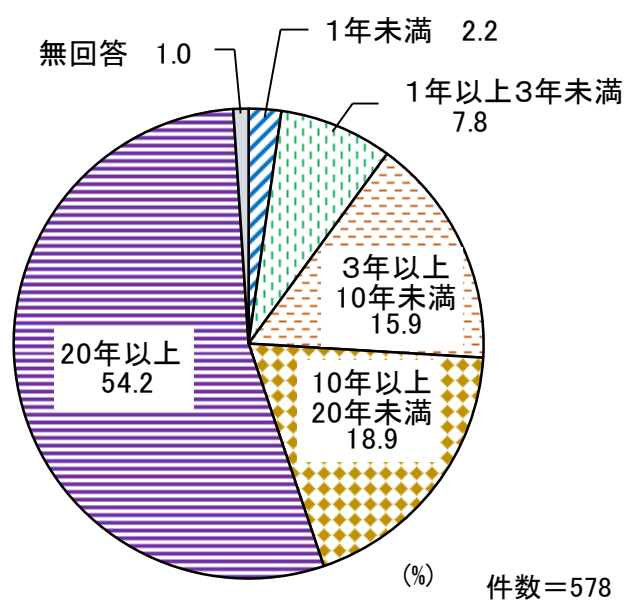
#### ■年齢



#### ■居住学区



#### ■居住年数

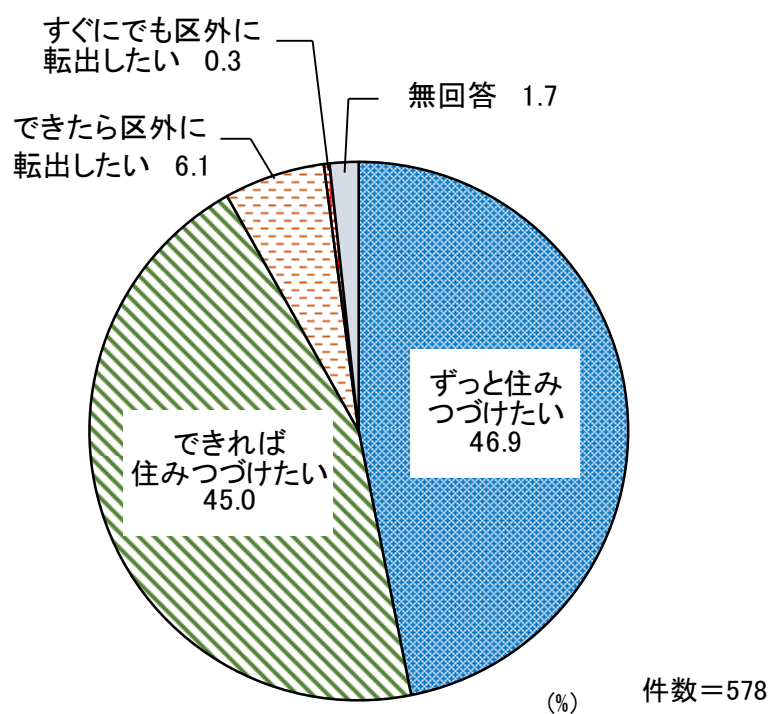


## 1-2 居住継続意向について

### (1) 居住継続意向の有無

- これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「ずっと住みつづけたい」の割合が46.9%と最も高く約半数を占め、「できれば住みつづけたい」(45.0%)を合わせて91.9%と9割以上が住みつづけたいと回答している。一方、「すぐにでも区外に転出したい」(0.3%)はほとんどみられず、「できれば区外に転出したい」(6.1%)を合わせた区外に転出したいと回答した割合は6.4%となっている。

問5. これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。  
(あてはまるものに○をつけてください。)



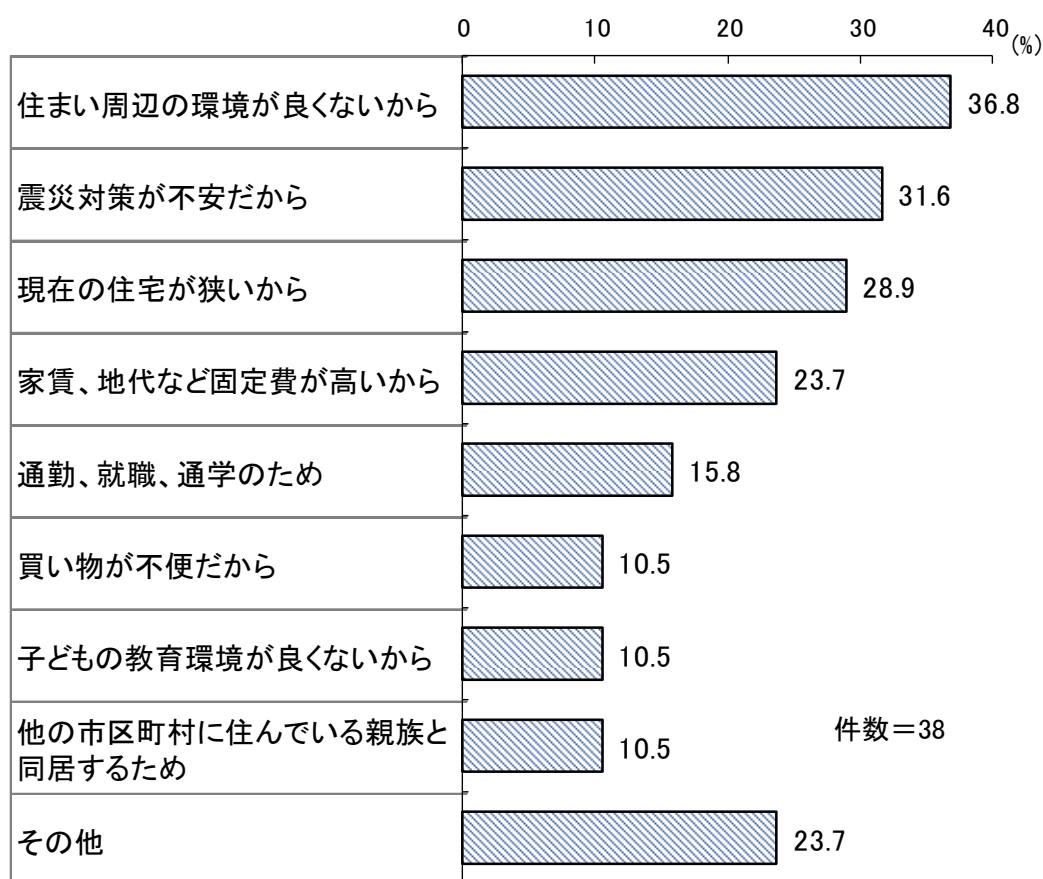
## (2) 区外に転出したい理由

○ 区外に転出したいと回答された方(38名)の理由としては、「住まい周辺の環境が良くないから」が36.8%と一番多く、次いで「震災対策が不安だから」(31.6%)、「現在の住宅が狭いから」(28.9%)、「家賃、地代など固定費が高いから」(23.7%)と続いている。

(前問で「3」もしくは「4」を選んだ方にお聞きします。)

問6. あなたが区外に転出したい理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください。)



## 2. 区役所の取り組んだ事業について

### 2-1 「安心・安全で快適なまち」について

#### (1) 「安心・安全で快適なまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「安心・安全で快適なまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が63.1%と最も高く6割以上を占め、「そう思う」は14.9%で、合わせて78.0%と8割弱が進んでいると肯定的に評価している。一方、「あまりそう思わない」(15.4%)と「そう思わない」(4.3%)を合わせた否定的評価をする割合は19.7%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合が4ポイント増えている。

#### (1) めざすべき将来像1 安心・安全で快適なまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

##### 施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進

- ・ 防犯キャンペーンの実施
- ・ 交通安全キャンペーンや交通安全教室の実施

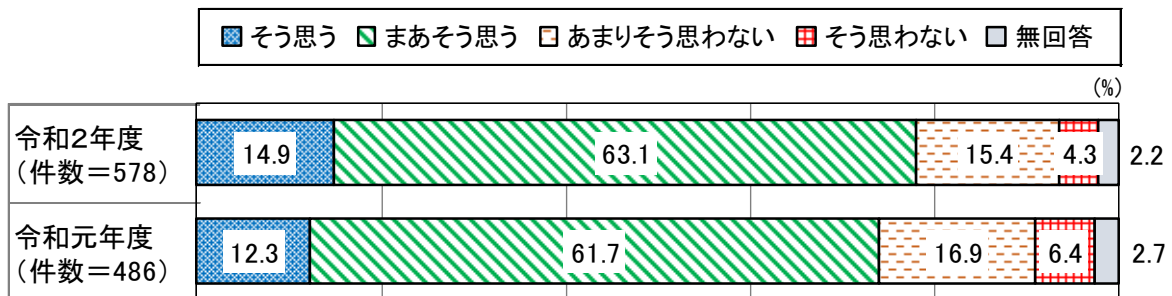
##### 施策2 災害に強いまちづくりの推進

- ・ 指定避難所開設・運営訓練、防災訓練の実施
- ・ 家具転倒防止ボランティアの派遣

##### 施策3 快適なまちづくりの推進

- ・ 地域の皆さまと協働で清掃活動（環境デーなごやなど）
- ・ ペットの適正な飼い方の普及啓発

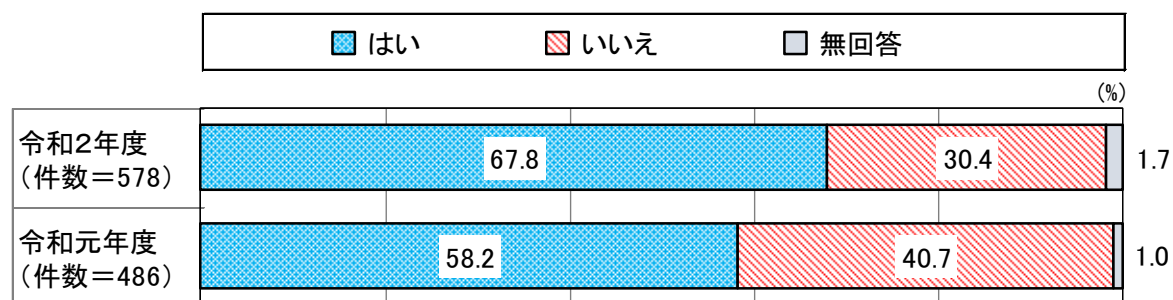
問7. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「安心・安全で快適なまち」づくりが進んでいると思いますか。(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



## (2) 家庭内の災害に対する備えの有無

- 家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしているかについては、「はい」が67.8%と7割弱を占め、「いいえ」は30.4%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「はい」の割合が9.6ポイント増えており、災害に対する備えをする区民が多くなっている。

問8. あなたは、家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしていますか。  
 （あてはまるものに○をつけてください。）

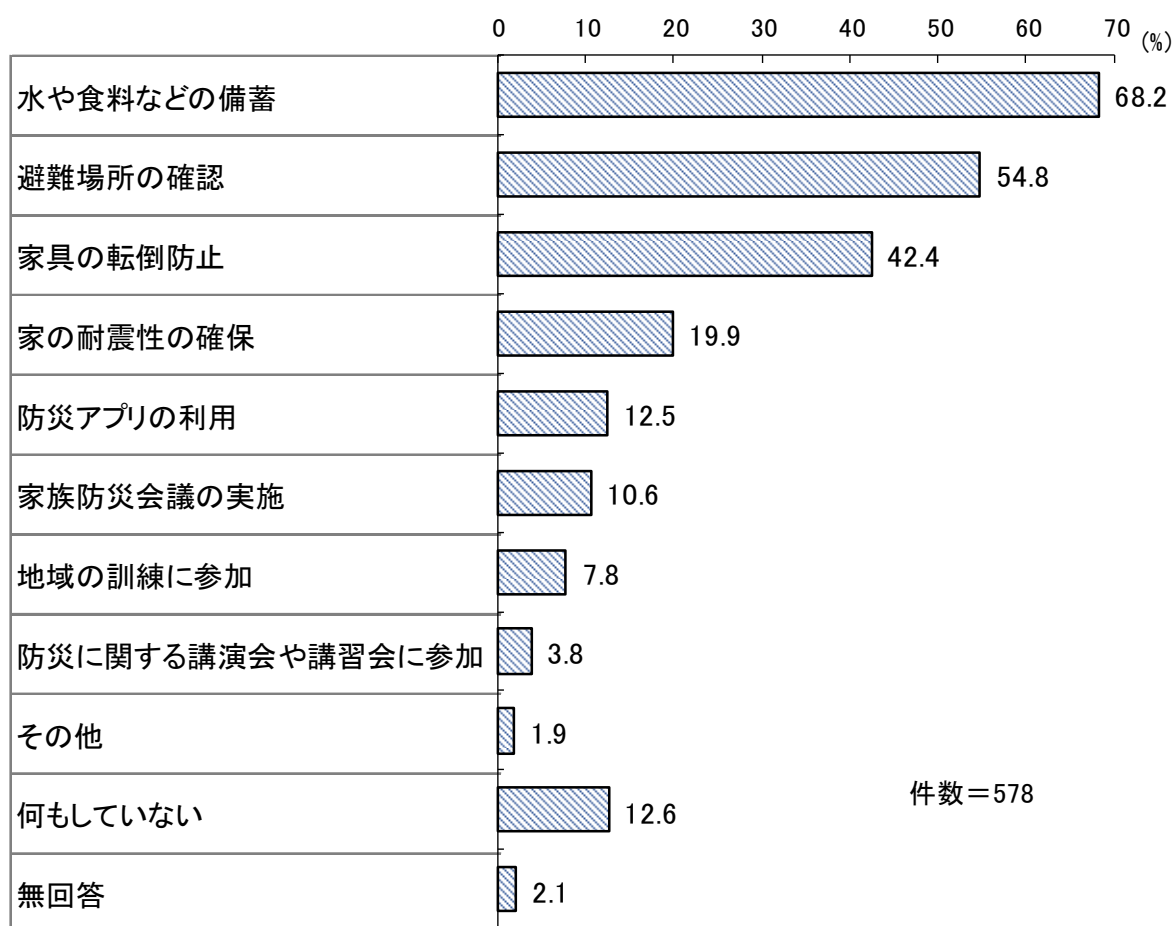


### (3) 行っている災害に対する備え

○ 実際に行っている災害に対する備えとしては、「水や食料などの備蓄」が 68.2%と最も多く 7割近くの区民が行っている。次いで、「避難場所の確認」(54.8%)、「家具の転倒防止」(42.4%)についても半数前後が行っている。以下、「家の耐震性の確保」(19.9%)、「防災アプリの利用」(12.5%)、「家族防災会議の実施」(10.6%)は1割台と、自助の備えを行っている区民が多い。一方、「何もしていない」と回答された方は12.6%となっている。

問9. あなたが、実際に行っている災害に対する備えを教えてください。

(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))





## 2-2 「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」について

### (1) 「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」の進捗状況

○ 下記の取り組みなどを通じて「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が64.7%と最も高く6割強を占め、「そう思う」は12.3%で、合わせて77.0%と8割強が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(12.1%)、「そう思わない」(5.2%) 合わせて否定的評価をする割合は17.3%となっている。

### (2) めざすべき将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

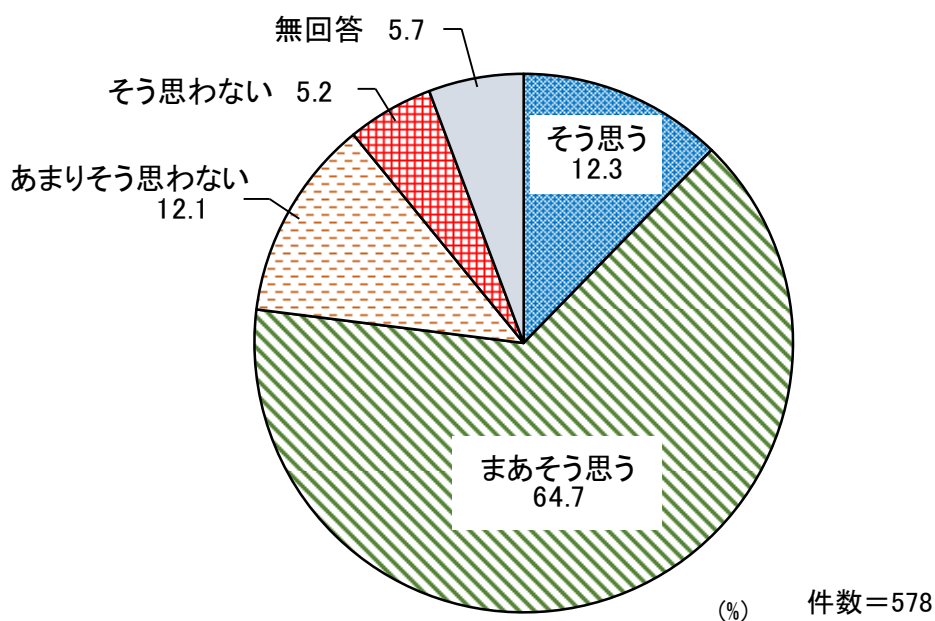
#### 施策4 子育て支援

- ・ 思春期セミナーやあつたっ子ひろばの開催
- ・ 児童委員による赤ちゃん訪問事業

#### 施策5 青少年健全育成の推進

- ・ 生活安全講話とあわせた親子ふれあいマジックショーの開催
- ・ 子ども会の活動支援

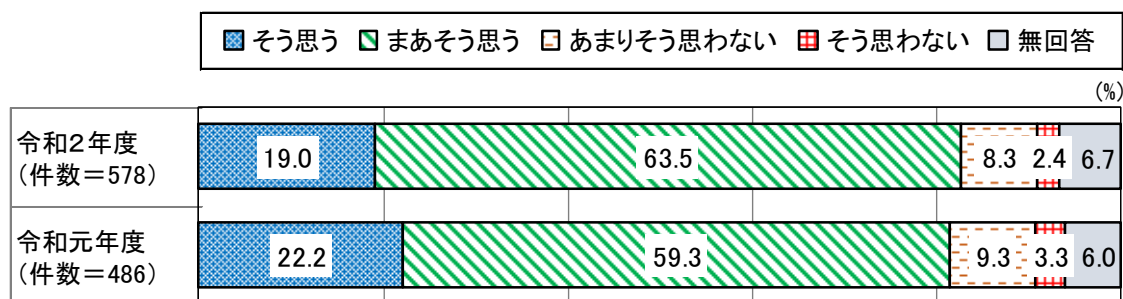
問10. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」づくりが進んでいると思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 熱田区は「子育てしやすいまち」かについて

- 熱田区は子育てしやすいまちだと思うかについては、「まあそう思う」(63.5%)が最も高く6割以上を占め、「そう思う」は19.0%であり、合わせて82.5%と8割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(8.3%)、「そう思わない」(2.4%)合わせて否定的評価の割合は10.7%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、評価はほぼ横ばいである。

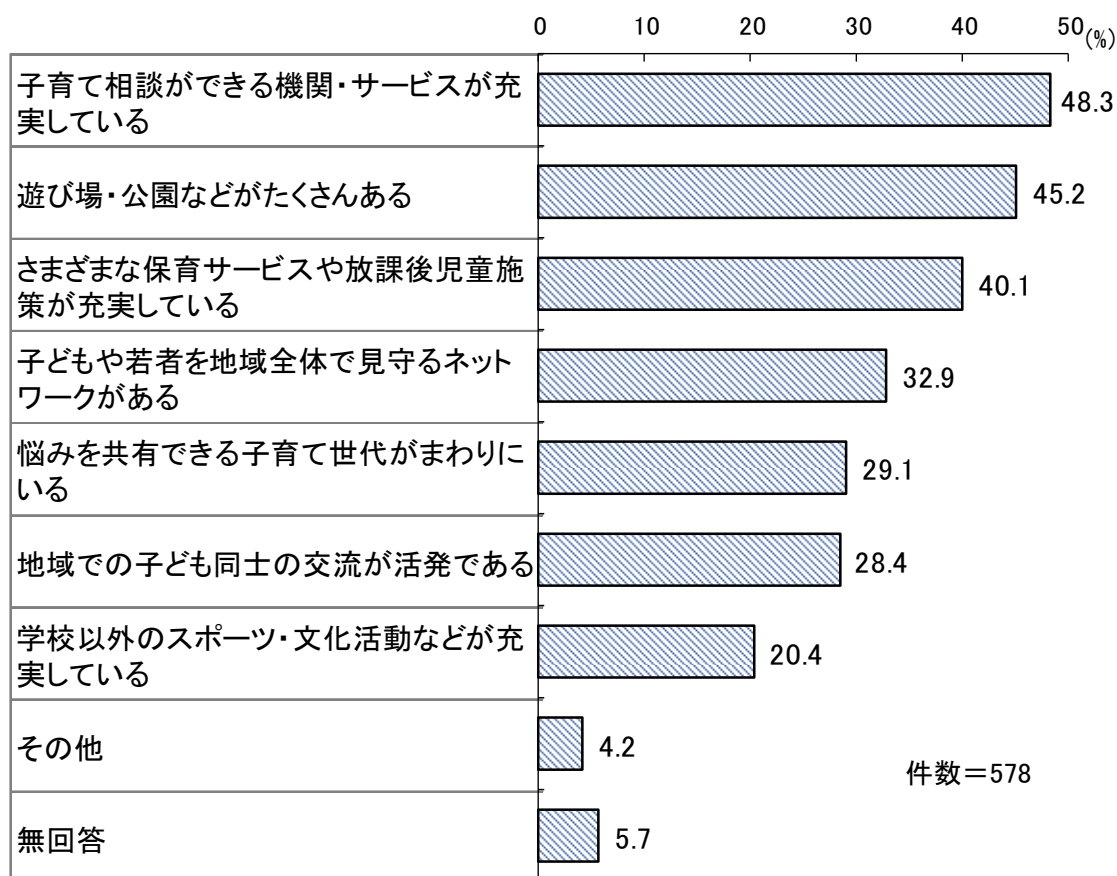
問 11. あなたは、熱田区は子育てしやすいまちだと思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



### (3) 「子育てしやすいまち」に必要なこと

○ 「子育てしやすいまち」に必要なだと思うことについては、「子育て相談ができる機関・サービスが充実している」(48.3%) が最も高く半数近くがあげており、「遊び場・公園などがたくさんある」(45.2%)、「さまざまな保育サービスや放課後児童施策が充実している」(40.1%) が4割台で続き、以下、「子どもや若者を地域全体で見守るネットワークがある」(32.9%)、「悩みを共有できる子育て世代がまわりにいる」(29.1%)、「地域での子ども同士の交流が活発である」(28.4%) は3割前後となっている。

問 12. あなたは、「子育てしやすいまち」には何が重要だと思いますか。  
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)



## 2-3 「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」について

### (1) 「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が64.5%と最も高く6割強を占め、「そう思う」は14.5%で、合わせて79.0%と約8割が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(13.1%)、「そう思わない」(3.6%) 合わせて否定的評価をする割合は16.7%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的評価の割合が6ポイント増えている。

### (3) めざすべき将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

#### 施策6 生涯学習の振興

- ・ 区民まつり文化祭の開催
- ・ 学区対抗ドッジボール大会等のスポーツ大会の開催

#### 施策7 区民の健康づくりの推進

- ・ 専門職による健康相談や健康チェック
- ・ 健康体操熱田区オリジナルバージョンの普及啓発

#### 施策8 地域福祉の推進

- ・ ふれあい・いきいきサロンの開設・運営を支援
- ・ あつたみまもりたいステッカーの配付

#### 施策9 高齢者への支援

- ・ 熱田いきいき体力測定会の開催
- ・ みんなでのばそう！健康寿命事業の実施

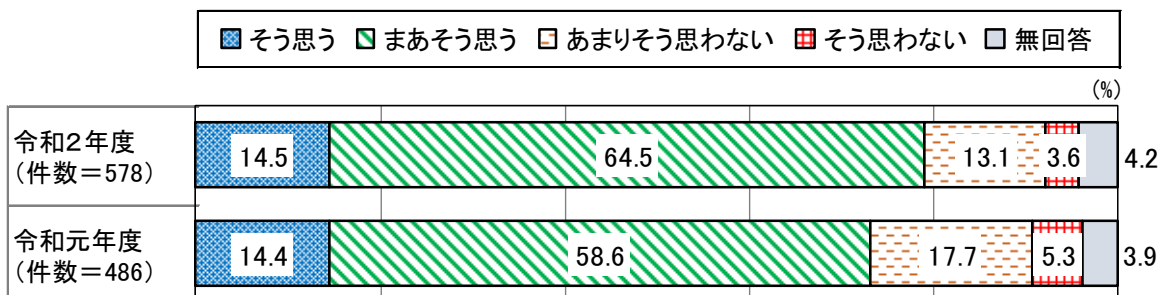
#### 施策10 地域包括ケアシステムの推進

- ・ 地域包括ケアの普及啓発
- ・ 緊急時あんしんキットの配付

#### 施策11 障害者への支援

- ・ 区役所内での授産製品販売支援
- ・ 障害者福祉サービス事業者対象の研修会の実施

問13. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」づくりが進んでいると思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)

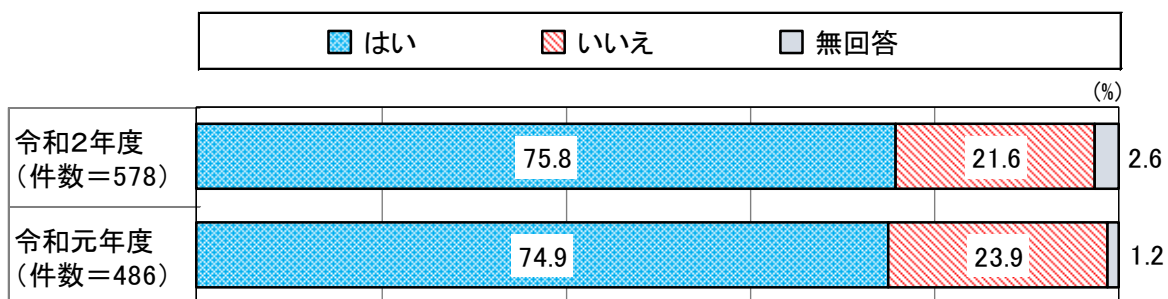


注: 昨年度は「区民一人ひとりが」として、たずねている。

## (2) 健康づくりへの取り組みの有無

- 健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）への取り組みについては、「はい」が75.8%と、8割弱の区民が健康づくりに取り組んでいる。一方、「いいえ」の割合は21.6%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

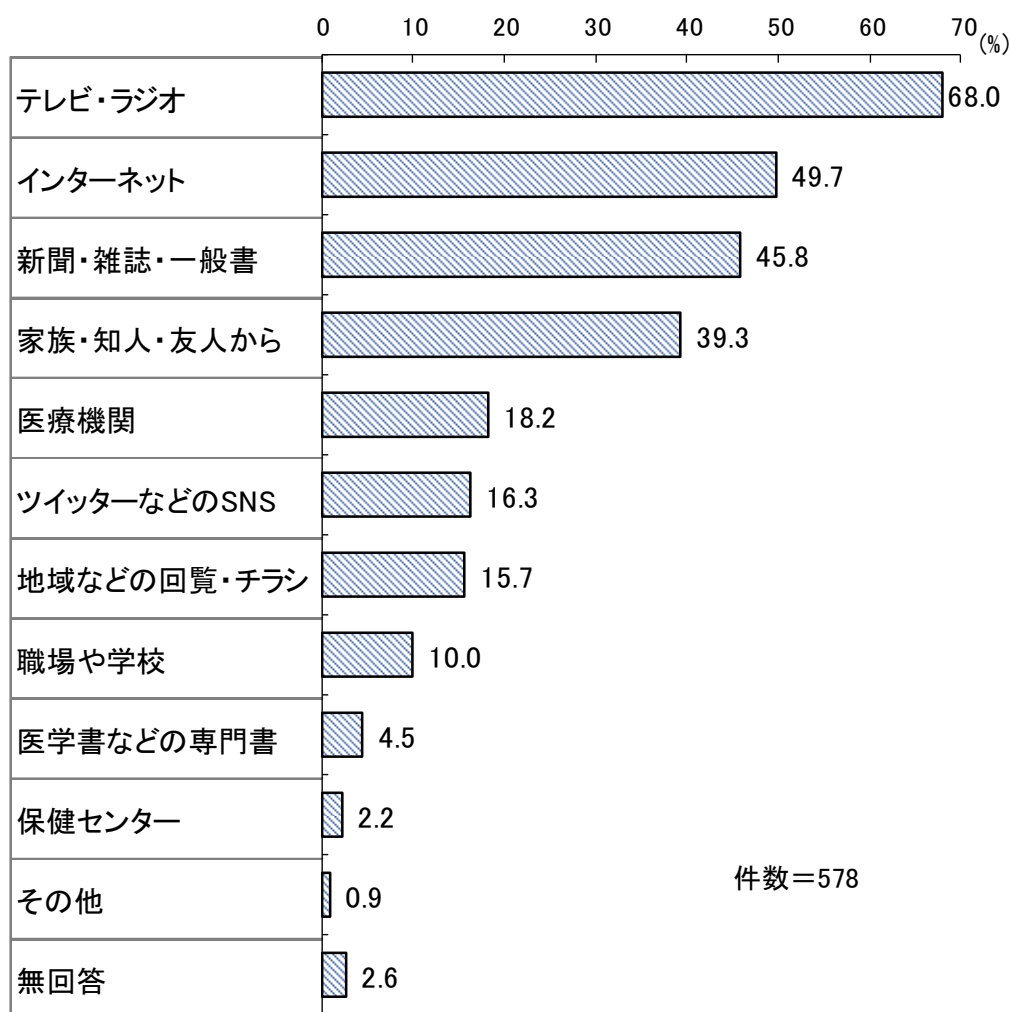
問 14. あなたは、健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）に取り組んでいますか。  
（あてはまるものに○をつけてください。）



### (3) 健康づくりに関する情報の入手経路

○ 健康づくりに関する情報の入手先としては、「テレビ・ラジオ」が 68.0%と最も高く、次いで「インターネット」(49.7%)、「新聞・雑誌・一般書」(45.8%)、「家族・知人・友人から」(39.3%)と続いており、そのほかは2割未満である。

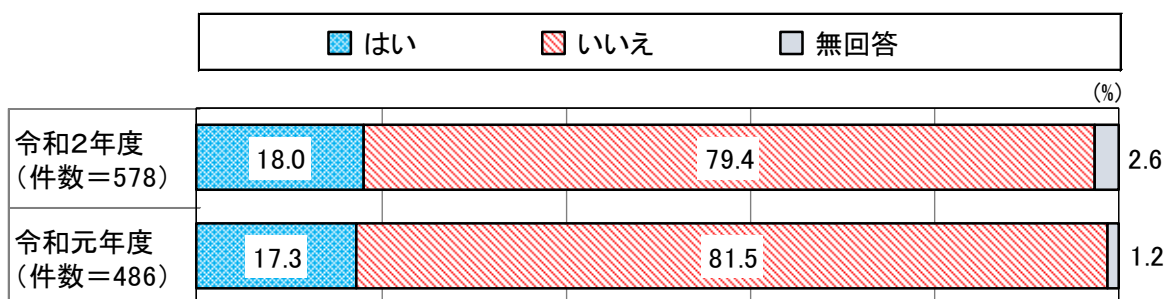
問 15. あなたは、健康づくりに関する情報をどのようにして知ることが多いですか。  
(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



#### (4) 授産製品の購入経験

- 障害のある方が製作した授産製品の購入については、購入したことがある区民の割合は18.0%と2割弱であり、購入したことがない区民の割合は79.4%と約8割を占めている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問 16. 熱田区では、現在区役所庁舎内（毎月第2・4金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。あなたは、授産製品を購入したことがありますか。  
（あてはまるものに○をつけてください。）





## 2-4. 「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」について

### (1) 「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」が65.4%と7割弱を占め、「そう思う」は13.3%で、合わせて78.7%と8割程を占めている。一方、「あまりそう思わない」(13.7%)、「そう思わない」(3.8%) 合わせて否定的評価の割合は17.5%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合はほぼ横ばいである。

### (4) めざすべき将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

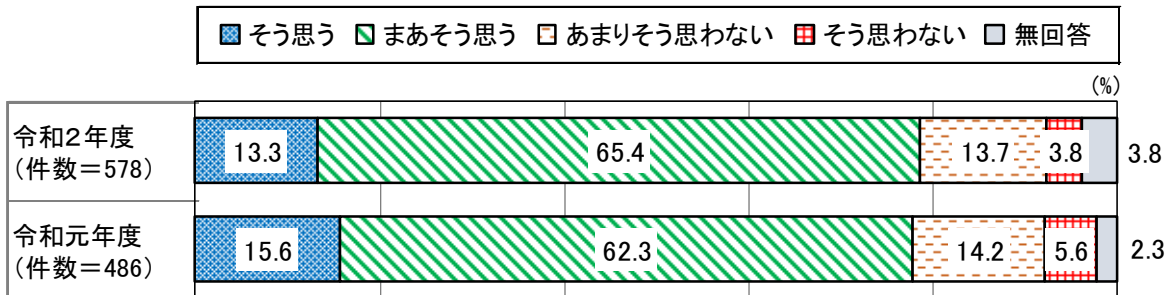
#### 施策12 あつたの魅力向上・魅力発信

- ・ 区民まつりやあつたか！あつた魅力発見市の開催
- ・ 区役所保有の歴史資料の展示

#### 施策13 地域活動への支援

- ・ 町内会・自治会への加入促進の支援
- ・ 地域団体や大学などの活動支援

問 17. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」づくりが進んでいると思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



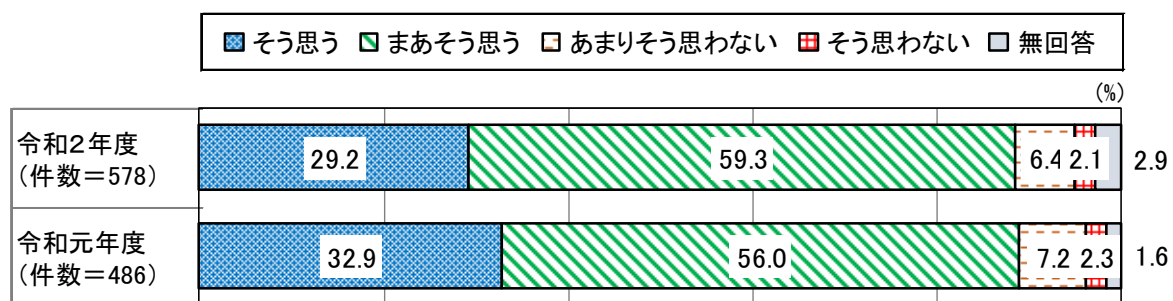
注: 昨年度は「歴史的資産、文化的風土を活かした『にぎわい・交流』のあるまち」であった。



(2) 熱田区は「魅力的なまち」かについて

- 熱田区は魅力的なまちだと思うかについては、「まあそう思う」(59.3%)が最も高く6割を占め、「そう思う」は29.2%と3割であり、合わせて88.5%と9割程が肯定的な評価をしている。一方、否定的評価の割合は合わせても8.5%と1割に満たない。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は横ばいである。

問 18. あなたは、熱田区は魅力的なまちだと思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)

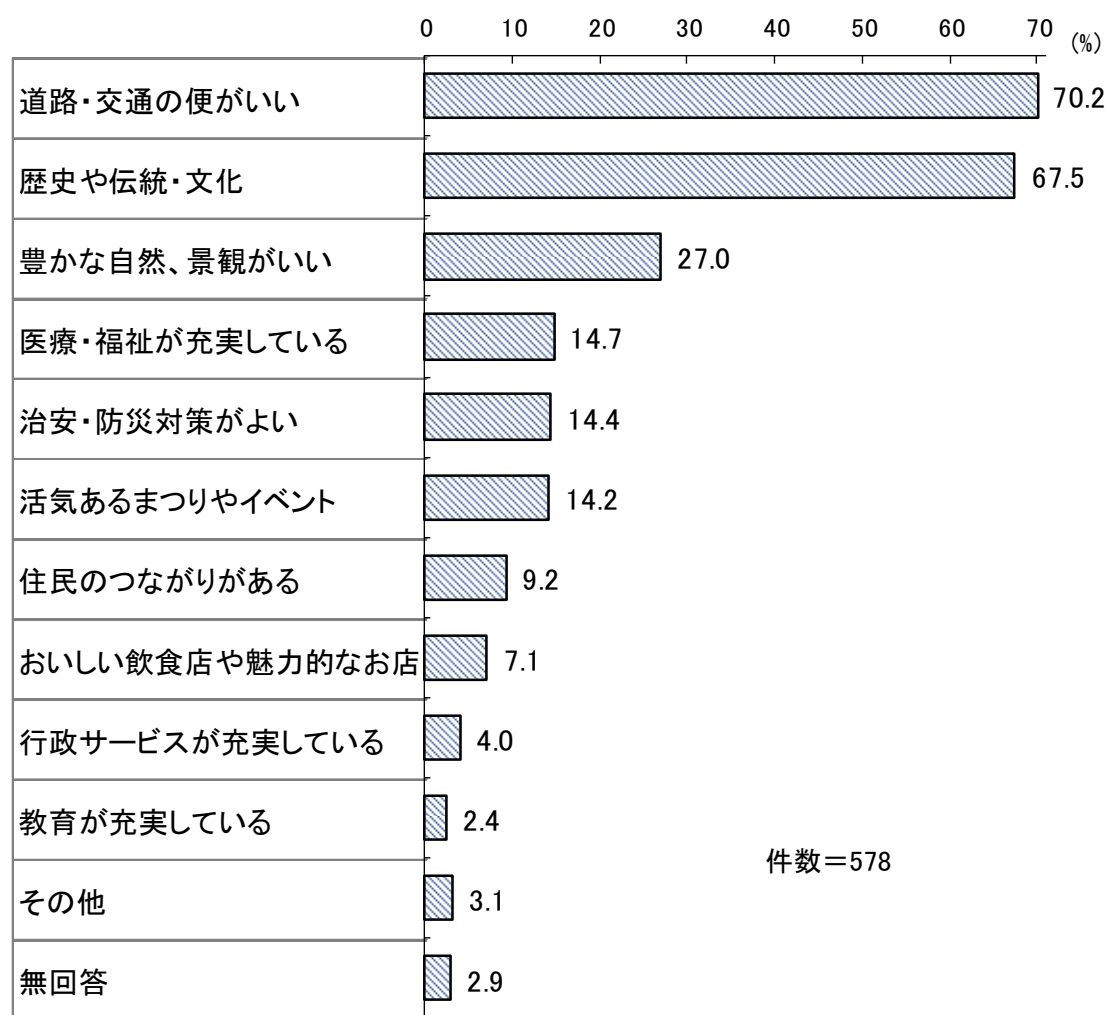


### (3) 熱田区の魅力

○ 熱田区の魅力としては、「道路・交通の便がいい」(70.2%)、「歴史や伝統・文化」(67.5%)と答えた方がともに7割程と多くなっている。次いで、「豊かな自然、景観がいい」(27.0%)が3割弱で、そのほかは15%以下となっている。

問19. あなたは、熱田区のどんなところが魅力だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)

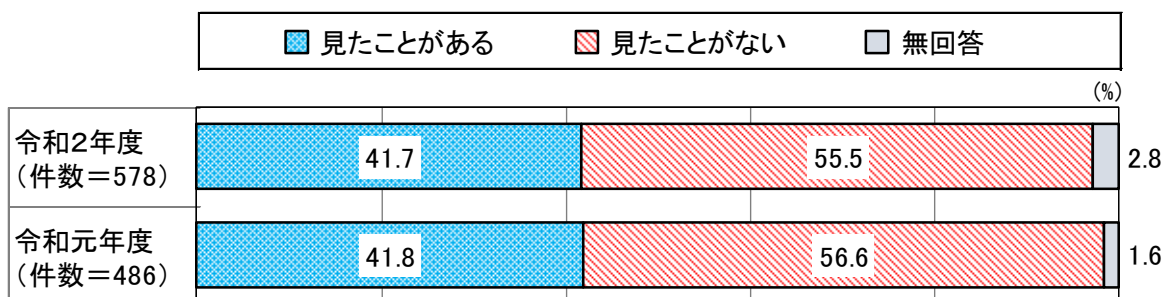


#### (4) 熱田ブランドマークを見たことの有無

- 熱田区の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、区民の投票により決定した熱田ブランドマークを「見たことがある」区民は41.7%で4割以上となっている。一方、「見たことがない」は55.5%と過半数を占めている。
- 昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

問 20. 熱田の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、熱田ブランドマークが皆さまの投票により決定しました。  
あなたは、右のマークを見たことがありますか。  
(あてはまるものに○をつけてください。)

熱 待 君  
田 つ を  
ま ち



## 2-5. 「皆さまに信頼されるあったか区役所」について

### (1) 「皆さまに信頼されるあったか区役所」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「皆さまに信頼されるあったか区役所」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が 68.5%と 7 割近くを占め、「そう思う」(10.6%)を合わせて 79.1%と約 8 割が肯定的に評価している。一方、「あまりそう思わない」(13.0%)、「そう思わない」(3.8%) 合わせて否定的評価をする割合は 16.8%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「そう思う」という強い肯定的な評価の割合は 5.7 ポイント減っているものの、肯定的評価の割合は若干増えている。

### (5) 区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所

#### (昨年度の主な取り組み事業例)

#### 施策 14 区民サービスの向上

- ・ 接遇研修や業務改善の庁内選考会あつたカップの開催

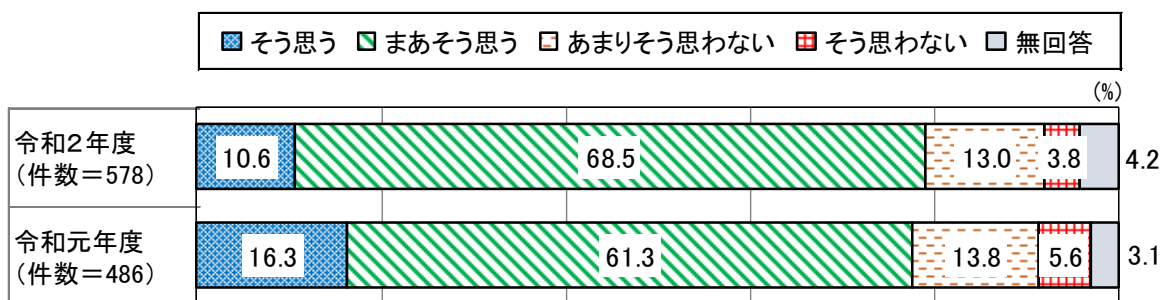
#### 施策 15 区民ニーズの把握

- ・ 区民アンケートの実施や区民会議の開催

#### 施策 16 区民への情報提供

- ・ 広報なごや区版や区ホームページの充実

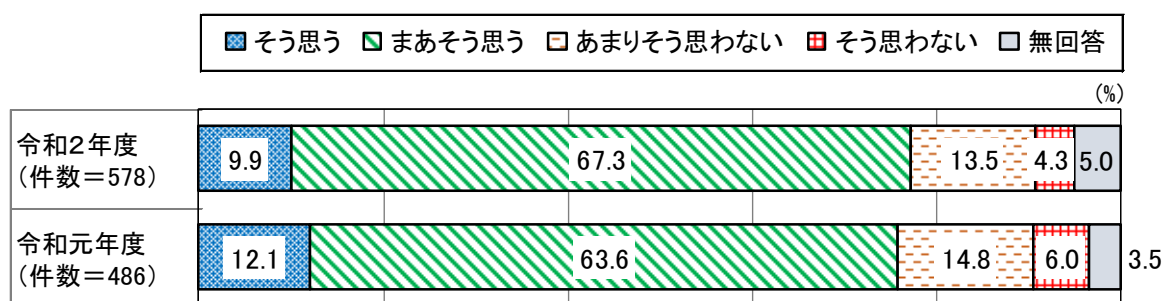
問 21. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「皆さまに信頼されるあったか区役所」づくりが進んでいると思いますか。(あてはまるもの 1 つだけ選んで○をつけてください。)



## (2) 区民ニーズや課題の把握について

- 区役所が区民のニーズや課題の把握に努めているかについては、「まあそう思う」が67.3%と7割弱を占め、「そう思う」(9.9%)を合わせて77.2%と肯定的評価の割合は8割弱となっている。一方、「あまりそう思わない」(13.5%)、「そう思わない」(4.3%)を合わせて否定的評価の割合は17.8%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的評価の割合が1.5ポイント増加している。

問 22. あなたは、区役所は区民のニーズや課題の把握に努めていると思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



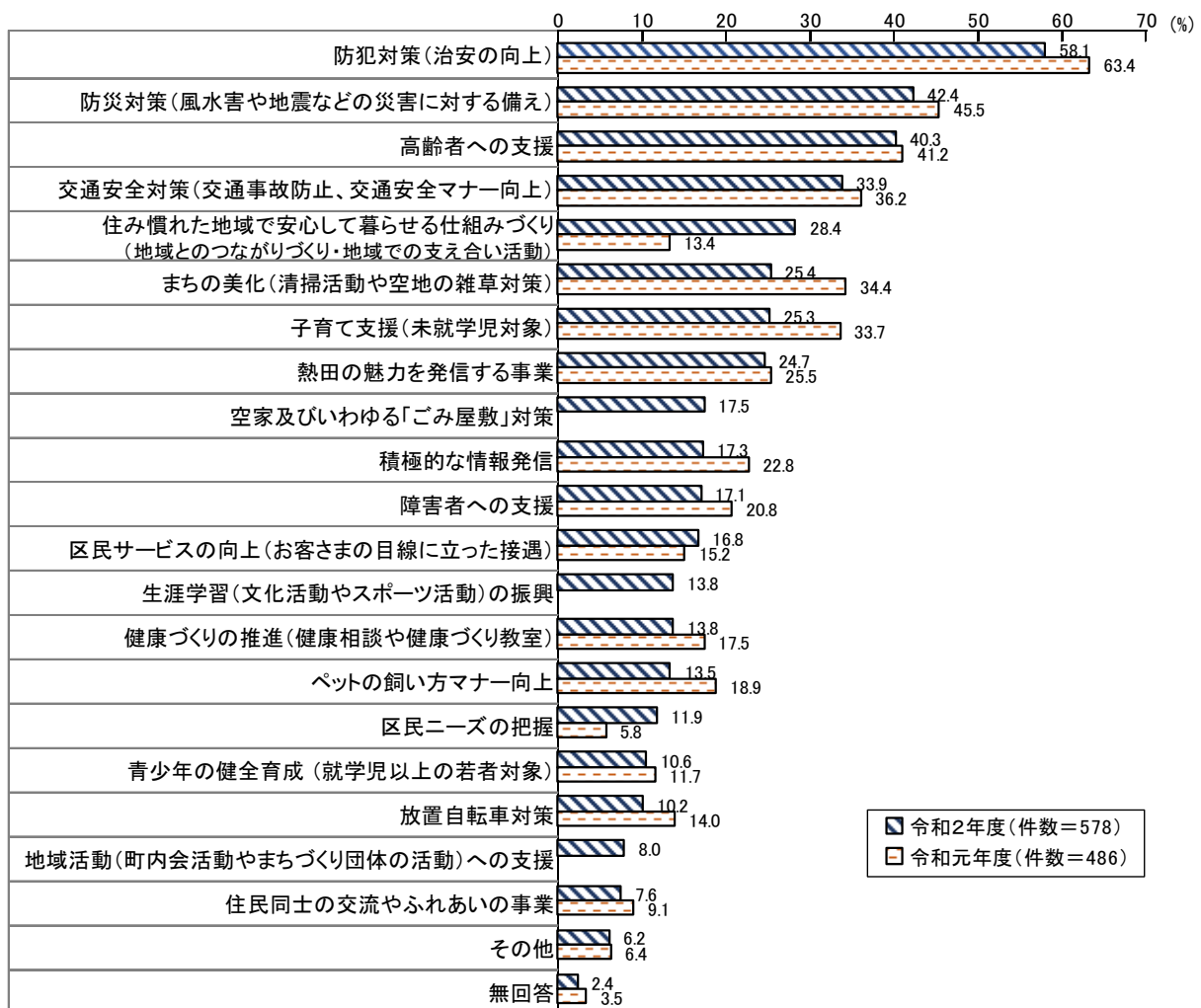
### 3. 力を入れて取り組むべき課題について

#### 3-1 区役所が力を入れるべき取り組み

- 今後、区役所が力を入れて取り組むべき課題としては、「防犯対策（治安の向上）」が58.1%で最も高く6割近くの区民があげている。次いで「防災対策（風水害や地震などの災害に対する備え）」(42.4%)と「高齢者への支援」(40.3%)が4割台、「交通安全対策（交通事故防止、交通安全マナー向上）」(33.9%)が3割台、「住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり（地域とのつながりづくり・地域での支え合い活動）」(28.4%)、「まちの美化（清掃活動や空地の雑草対策）」(25.4%)、「子育て支援（未就学児対象）」(25.3%)、「熱田の魅力発信する事業」(24.7%)が、それぞれ2割台で続いている。
- 昨年度調査と比較すると、回答項目名や項目数が異なっているものの上位4位までの順序は同じである。

問23. あなたは、今後、区役所が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。

(あてはまるもの5つまで選んで○をつけてください。)



注: 昨年度の数値がない3項目は、今年度新規項目。

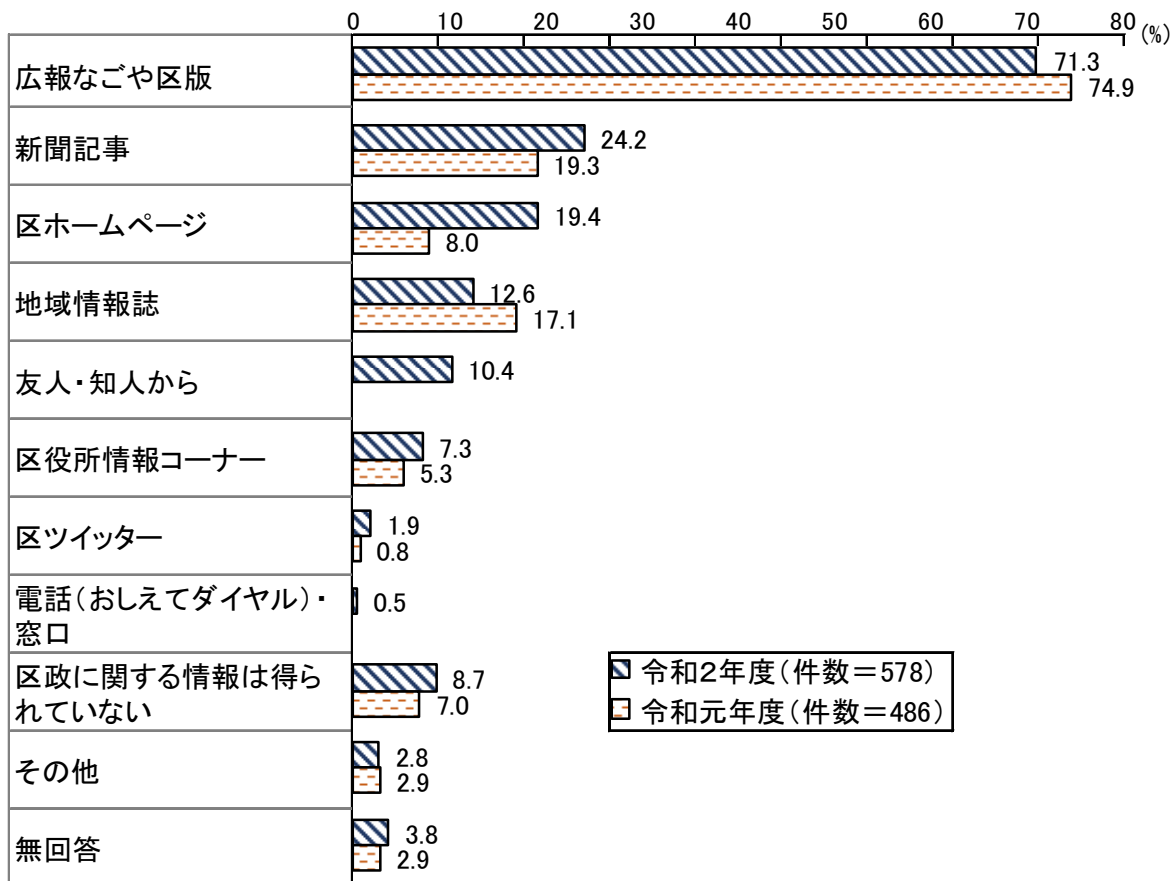
「住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり(地域とのつながりづくり・地域での支え合い活動)」は昨年度は「地域福祉の推進(地域の皆さまの交流拠点づくりなど)」、「熱田の魅力発信する事業」は昨年度は「熱田の歴史・文化を体験できる事業の推進(あつたの魅力向上・魅力発信)」、「住民同士の交流やふれあいの事業」は昨年度は「住民のふれあいや交流の活発化(区民まつりなど)」であった。

#### 4. 熱田区役所の情報発信について

##### 4-1 区政に関する情報の入手経路

- 区政に関する情報の入手先としては、「広報なごや区版」が71.3%と最も高い。次いで、「新聞記事」(24.2%)、「区ホームページ」(19.4%)が2割前後、「地域情報誌」(12.6%)、「友人・知人から」(10.4%)が1割以上で続いている。一方、「区政に関する情報は得られていない」と8.7%が回答している。
- 昨年度調査と比較すると、回答選択肢は異なっているものの、「広報なごや区版」は依然として高くなっている。また、昨年度より「新聞記事」は4.9ポイント、「区ホームページ」は11.4ポイント増えている。一方、「地域情報誌」は4.5ポイント減となっている。

問24. あなたは、区政に関する情報をどのようにして知ることが多いですか。  
 (あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))

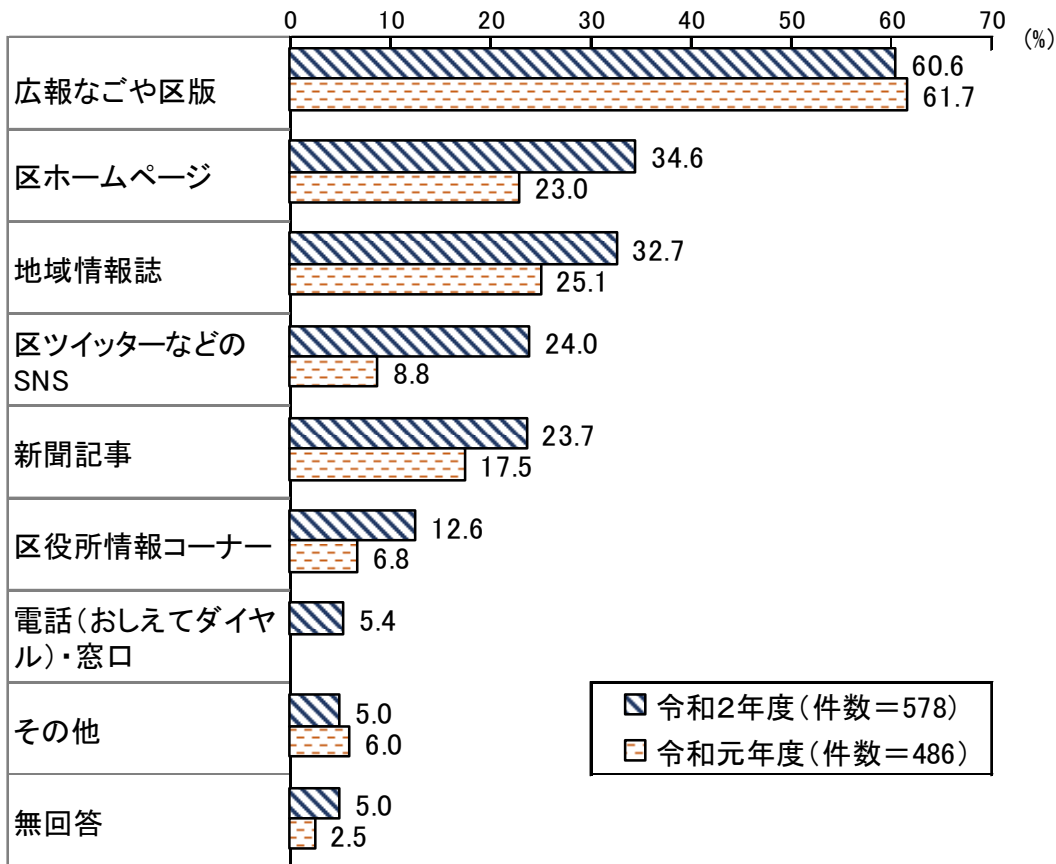


注: 昨年度は「熱田区に関する情報」として、たずねている。  
 「友人・知人から」、「電話(おしえてダイヤル)・窓口」は新規項目。  
 昨年度は「コミュニティセンター」5.6%があった。

#### 4-2 区政に関する情報を得るための情報提供手段

- 今後、区政の情報を得るために、区役所が力を入れるべき情報提供手段としては、前述の入手経路と同様に「広報なごや区版」が60.6%と最も高く、以下、「区ホームページ」(34.6%)、「地域情報誌」(32.7%)が3割台、「区ツイッターなどのSNS」(24.0%)、「新聞記事」(23.7%)が2割台で続いている。
- 昨年度調査と比較すると、回答選択肢は異なっているものの、依然として「広報なごや区版」へのニーズは強い。そのほかの項目は、全般に昨年度より高くなっており、特にインターネットを活用した情報提供手段である「区ホームページ」、「区ツイッターなどのSNS」は、それぞれ昨年度より10ポイント以上増えている。

問 25. あなたは、今後区政に関する情報を得るために、区役所が力を入れるべき情報提供手段は何だと思いますか。(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)



注: 昨年度は「熱田区の情報」として、たずねている。

「区ツイッターなどのSNS」は昨年度は「区ツイッター」、「電話(おしえてダイヤル)・窓口」は新規項目。

昨年度は「町内会回覧」40.7%、「コミュニティセンター」7.8%、「フェイスブック」5.8%、

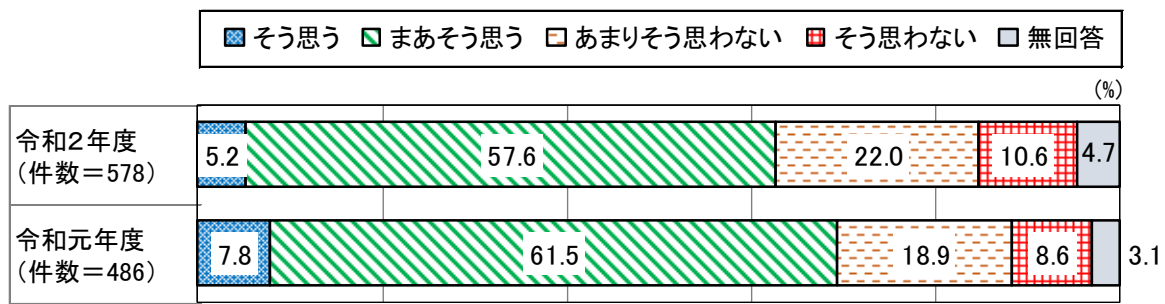
「特にない」7.6%があった。



### 4-3 区政に関する情報は十分か

- 区政に関する情報が十分に得られているかについては、「まあそう思う」が57.6%と6割近くを占め、「そう思う」(5.2%)を合わせて62.8%と肯定的評価の割合は6割強となっている。一方、「あまりそう思わない」(22.0%)、「そう思わない」(10.6%)を合わせて否定的評価の割合は32.6%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、昨年度は「熱田区に関する」と設問文は異なっているが、肯定的評価の割合は6.5ポイント減少している。

問26. あなたは、区政に関する情報が十分に得られていると思いますか。  
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



5. ご意見・ご要望等（自由記入）

問27. 熱田区のまちづくりや熱田区役所に対するご意見・ご要望、今後、熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むべき施策などがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、163件のご意見をいただきました。

18歳から29歳まで	11件
30歳から39歳まで	22件
40歳から49歳まで	28件
50歳から59歳まで	38件
60歳から69歳まで	32件
70歳から79歳まで	26件
80歳以上	6件

いただいたご意見は、熱田区ホームページにて掲載しています。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

お問い合わせ先：熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL： (052) 683-9688

FAX： (052) 682-1496

E-mail： a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp